

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する情報公開

福島県立医科大学肝胆膵・移植外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記のヒトゲノム・遺伝子解析研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年8月 福島県立医科大学医学部肝胆膵・移植外科学講座 講座主任 丸橋繁

【研究課題名】肝細胞癌における肝内転移発症メカニズムの解析

【研究期間】 2017年8月～2022年7月

【研究の意義・目的】肝細胞癌の治療成績は向上してきていますが、いまだ術後早期の肝内転移による再発が多く見られます。その肝細胞癌組織のゲノム異常を解析し、肝内転移に関わる遺伝子を同定することが目的です。

【研究の対象となる方】

2007年から2013年に当院で手術を行った肝細胞癌患者さんを対象とします。

【研究の方法】

- ・肝細胞癌患者様の癌組織の網羅的遺伝子解析を行った結果と実際の臨床情報から肝内転移に関わる遺伝子を推定します。
- ・推定した遺伝子に関して、研究用の肝細胞癌細胞株で遺伝子の機能解析を行い、肝内転移に関わる遺伝子を同定します。

【研究組織、研究機関名】

	(所属)	(職)	(氏名)
研究責任者	肝胆膵・移植外科学講座	主任教授	丸橋 繁
主任研究者	肝胆膵・移植外科学講座	学内講師	石亀輝英
研究分担者	プログレッシブDOHaD研究講座	教授	志村 龍男
	肝胆膵・移植外科学講座	教授	見城 明
	肝胆膵・移植外科学講座	教授	木村 隆
	肝胆膵・移植外科学講座	講師	岡田 良
	肝胆膵・移植外科学講座	助手	武藤 亮
	肝胆膵・移植外科学講座	助手	鈴志野聖子
	肝胆膵・移植外科学講座	助手	西間木 淳

【人体から採取された試料等の利用について】

肝細胞癌で手術を受ける患者より手術時の摘出標本の一部をご提供いただき、網羅的遺伝子解析のために使用します。

【他の機関等への試料等の提供について】

なし

【本研究に関する問合せ先】

本研究に関するご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部肝胆膵・移植外科学講座 担当 石亀輝英

電話:024-547-1254 FAX: 024-547-1981

E-mail:ishigame@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の問い合わせ先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は

代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1
公立大学法人福島県立医科大学医学部肝胆膵・移植外科学講座 担当 石亀輝英
電話:024-547-1254 FAX: 024-547-1981
E-mail:ishigame@fmu.ac.jp